



五中だより

令和 7 年 11 月 4 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

「ごめんね」からはじまる成長

校長 伊藤 克行

皆さんはお家の人や先生の言うことに対して、心の中で「それって、どうなの?」「言ってることと、やっтерることが違うじゃないか!」なんて、ツッコミを入れたくなかったことはありませんか?

もし、そう感じたことがあるなら、それは君たちが成長している大きな証拠です。子どもだった頃は絶対だと思っていた大人の世界が、少しずつ見えてきて、「あれ?」「おかしいな?」と気づけるようになった。それは素晴らしいことです。

そして今回は、そんな君たちに、私から一つ、カミングアウト(告白)をしたいと思います。

実は、君たちのそのツッコミ…結構、当たっていることがあると思います。

そう、大人は間違えることもあります。先生たちも、皆さんの保護者の方も、そしてこの私自身も、結構、間違えてしまうことがあります。もうわかっているかもしれませんが、完璧な大人なんて、どこにもいないのです。

ついこの間も、私自身、こんなことがありました。ある先生と大事な打ち合わせをしていた時のことです。私は自分の記憶を頼りに「あの件は、こうだったはずだ」と少し強く話をしてしまいました。しかし、後から記録を確認すると、なんと間違えていたのは私の方だったのです。

その時、心臓が「ドキッ」としました。正直、すごく恥ずかしかった。「まずいな、ごまかそうかな」という気持ちが、一瞬だけ心をよぎったのも事実です。

でも、私はその先生のところへすぐに行き、「〇〇先生、ごめん。さっきの話、私が完全に間違えていました。本当に申し訳ない」と、ストレートに謝りました。すると先生は、にこっと笑って「いえいえ、誰にでもありますよ」と言ってくれました。その一言に、私は心から救われた気持ちになりました。

私が今日、一番伝えたいのはここからです。

本当に大切なのは、「間違わないこと」ではありません。そんなことは不可能です。大切なのは、「間違えたと気づいた時に、どうするか」です。自分の非を認め、「ごめん」と素直に謝ること。「次はどうすれば同じ間違いをしないかな」と考え、行動を改めること。

そしてもう一つ私が大切だと思うことは、大人だけでなく「誰もが間違えることがある」と知っている人は、間違えた人を許すことができることではないでしょうか。これができると間違えた人はしっかり反省して、次は良い結果が得られるように頑張るのだと思います。

この繰り返しこそが、大人になっても続く、本当の意味での「成長」なのだとは私は信じています。間違いは、決して「恥」や「終わり」ではありません。それは、昨日までの自分より少し賢くなれるチャンスかもしれません。

君たちも、これから学校生活を送る中で、勉強で、部活動で、友達との関係で、たくさん間違えることがあるでしょう。でも、それを恐れなくてください。間違えた時は、正直にそれを認め、そこから何か一つでも学んで、次の一歩を踏み出す勇気を持ってほしい。そして自分の周りにいる人が間違えたときは、その間違えた人を許せる人であってほしいと願っています。

私たち大人も、間違えることを恐れずに、君たちと一緒に学び、成長していきたいと思っています。間違いを認め合える、温かい学校をみんなで創っていきましょう。

♪ 合唱コンクール (10/16) ♪



合唱コンクールが無事に開催されました。当日へ向けてどの学級でも課題やそれに向き合う場面がありました。短い練習期間にも関わらずどんどんよくなっていく歌声に驚きました。

ご来場いただいた保護者の皆様、交通整理や受付・誘導にご協力くださったごだごサポーターの皆様、ありがとうございました。

【結果】 1年 金賞：1組、銀賞：4組 2年 金賞：5組、銀賞4組
3年 金賞：4組、銀賞：2組 熱演賞：8組



(8組)



(吹奏楽部)



(3学年 金賞 4組)

🚂 8組宿泊学習 (10/23~24) 🚂

8組の生徒が山梨県・西湖、河口湖方面へ宿泊学習に行ってきました。

天気は曇りと雨でした。また現地の気温は4℃で、富士山の初冠雪も見られる寒さでした。

生徒たちは飯ごう炊さんやネイチャーガイドウォークなど、班ごとに声を掛け合いながら活動しました。

